

31万人元気都市 四日市へ!!

森ともひろ通信

第31号



あなたは 3 9 0 1 8 1 人目の読者です。

39歳 四日市市長

2018年度『31万人元気発信予算』がスタート!

2018年度がスタートしました。市長就任して2度目となる2018年度の当初予算に『31万人元気発信予算』と命名しました。昨年度、四日市市は市制施行120周年で大きな盛り上がりを見せ、沢山の元気を創り上げることが出来ました。今年度はその元気を市内外に積極的に発信していきます。今年度のキーワードは、「情報発信」です。

2018年度当初予算は、好調な企業投資を背景に過去最高の税収を見込みます。歳入増を受けて、市民サービスの向上・拡大に向けて、各分野にて積極的な予算編成を行いました。

2018年度の主だった新たな取り組みや組織改編について紹介します。

【子ども医療費の窓口負担ゼロ】未就学児までは三重県初の実施!

市長就任時から準備を進めてきた「子ども医療費の窓口負担ゼロ」。今年度4月から未就学児までを対象に実施しました。未就学児までを対象にするのは三重県で初めてとなります。

これまで、四日市市は中学校3年生まで医療費は無料でしたが、医療機関での診察の際に一度支払いをして後日還付されるという還付方式でした。しかし、当方式だと診察時に医療機関での支払いが生じる為、手元にまとまったお金を持ち合わせていない場合、子どもの診療を手控えてしまう事例が見受けられました。

今回の取り組みにより、四日市市に住む子ども達は誰でもいつでもどこでも医療を受けることが出来る体制が整いました。

【第三子以降の保育料完全無料化】年齢制限を撤廃! 県内市で2例目

4月から、四日市市に住む第三子以降の子ども全員が幼稚園、保育園の保育料が無料となりました。これまで、第三子以降の子どもについては長子の年齢が中学校3年生までという年齢制限がありましたが、今年度からこの年齢制限を撤廃しました。四日市市として、少子化対策に取り組む姿勢を示すと共に、多子世帯に対する経済的サポートを行っていきます。

当取り組みは県内の14市で2市のみでの実施となり、子育て世代に対する積極的な支援となります。

【全小学校に英語専科教員配置】英語教育に力を! 県内市で初の取り組み

小学校での英語の教科化が2020年度に開始される中、四日市市では今年度から全小学校に英語専科教員を配置し、英語指導体制を強化しました。英語専科教員の全小学校配置は県内の市では四日市市のみであり、英語教育に力を入れる四日市市の教育の特色を打ち出しました。

【シティプロモーション部を新設】四日市市の魅力を市内外に強力に発信!

今年度から四日市市役所に『シティプロモーション部』を創設しました。これまでの商工農水部観光シティプロモーション課と政策推進部広報公聴課をシティプロモーション部にまとめ、四日市市の魅力の創出と情報発信を重ねて実施する体制としました。市民の誇りの醸成に向けて、積極的に四日市市の魅力や良さを市内外に発信していきます。

【『子育てするなら四日市』5日間の育児休暇を取得しました!】

四日市市は、「子育てするなら四日市」というスローガンを掲げ、子育て支援の充実、そして男性、女性共に積極的に子育てに関われる環境作りに努めています。

この度の市長という立場での育児休暇取得により、市役所そして、地域の企業において育児休暇が取得しやすい環境づくりに繋げていきたいという想いがありました。

働くことに対する価値観は時代と共に変化し、今、ワークライフバランスの充実には各役所、企業で必要不可欠な取り組みとなっています。四日市市も先頭に立ち、ワークライフバランスの充実にも努めていきます。

恥ずかしながら、これまでなかなか子育て・家事に関わる事が無かった私の悪戦苦闘の5日間の様子を私のブログに綴っています。この5日間は私の育児・家事の価値観を大きく変える貴重なものとなりました。



【今、四日市港が熱い】外国客船寄港、霞4号幹線開通等

2018年、四日市港が熱い！今年に入り、四日市港に関する嬉しい話題が続いています。四日市港は来年開港120周年を迎えます。四日市市の発展の礎である四日市港に今、注目が集まります！

【三重県初！外国客船が四日市港に寄港】四日市市が観光の玄関口に！

1月2日に四日市港で初となる外国客船「コスタネオロマンチカ」が寄港しました。四日市市として待望の外国客船の入港です。今年、「コスタネオロマンチカ」が今回の寄港を合わせて2回、6月の初入港を皮切りに「ダイヤモンドプリンセス」が計5回、外国客船としては年間で7回の寄港が実現します。外国客船の四日市港への寄港は、四日市市にとって大きなチャンスであり、四日市市の更なる魅力向上に繋がっていきます。



【四日市・いなばポートラインが開通】四日市市の新たな名所に！

4月1日、四日市港の霞ヶ浦ふ頭と伊勢湾岸自動車道・みえ川越インターチェンジ付近を結ぶ『四日市市・いなばポートライン（臨港道路霞4号幹線）』が開通しました。『四日市市・いなばポートライン』は、全長約4.1kmで大部分が高架となっており、海の上を走る道路となります。『四日市市・いなばポートライン』開通により周辺道路の渋滞緩和、物流の効率化による広域での四日市港の利用可能性の拡大に繋がります。四日市市、四日市港に大きな効果をもたらします。



【2017年の外貨貨物コンテナ取扱量過去最高に！】

国外との海上輸送の取扱量を示す「外貨コンテナ取扱量」は、港湾において重要な指標になります。四日市港の「外貨コンテナ取扱量」は、2016年に国内港湾で10位に位置しています。そして、四日市港の2017年の「外貨コンテナ取扱量」は、2013年を抜いて過去最高を記録しました。四日市港は全国の港湾と比べてみても特に高い成長を遂げています。

【2017年、リーマンショック後最多の人口流入超過へ】

四日市市の人口動態をみると、2017年はリーマンショック後最多の人口流入超過となりました。リーマンショックにより四日市市は人口流出超過に陥りましたが、ここ数年は再び人口流入超過に転じています。

転出よりも転入が上回る人口流入超過でリーマンショック後最多ということは今、四日市市に他の自治体から人が集まってきている状況です。「選ばれるまち」を目指し、社会増にこだわり、引き続き各種施策を強力に推し進めていきます。

・街頭演説 81か月連続実施中!!

平成23年8月から毎月、市内各地で実施している街頭演説が、4月8日で連続81ヵ月を迎えました。

・駅立ち600日到達!!

5月7日の近鉄四日市駅北口の駅立ちにて節目の600日目に達しました。平成22年9月21日から行っている朝の駅立ちは、政治家 森智広の活動の原点です。原点を忘れず、立場は変われど市民の皆さんに自らのメッセージを届け続けます。



駅立ち実績 (2017年12月18日～)

12月18日 近鉄四日市駅西口	1月31日 近鉄富田駅西口	3月12日 近鉄阿倉川駅	4月10日 近鉄北楠駅
12月25日 近鉄四日市駅北口	2月5日 近鉄富田駅東口	3月15日 近鉄塩浜駅西口	4月12日 近鉄中川原駅
1月4日 近鉄四日市駅北口	2月15日 近鉄塩浜駅東口	3月23日 近鉄伊勢松本駅	4月16日 JR 河原田駅
1月18日 近鉄伊勢川島駅	2月28日 近鉄霞ヶ浦駅	3月26日 近鉄桜駅	4月19日 あすなろう追分駅
		4月3日 近鉄川原町駅	5月7日 近鉄四日市駅北口

森 智広 プロフィール

学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業
平成9年 四日市南高校 卒業
平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

職 歴

平成15年 中央青山監査法人 入所
平成18年 あらた監査法人 入所
平成19年 公認会計士登録
平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
平成22年 あらた監査法人 退所
平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選 [現役最年少]
平成25年 税理士登録
平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選
平成28年 四日市市長選挙にて、46,051票の負託を受けて当選

【役職】

・全国施行時特例市市長会 副会長
・三重県後期高齢者医療広域連合 副会長



継続的に市政情報発信しています!
森ともひろブログ

森ともひろブログ

検索